



成人向



おとなたちのおもちや

餌に釣られた女

THE HYPERMAN

それ届けてくれたんですか？

…ん？

誰だお前は

とあるファミレスで店長を務める白藤杏子は、小腹が空いたと思いつつふと窓の外を眺めるとそこに奇妙な物を見つけた。スナック菓子の袋が点々と、まるで誰かを誘い出すように続いているのである。小腹の空いていた杏子はそれを不審に思うこともなく、その菓子を追って店から姿を消してしまった。

しかし彼女がいなくとも店は何の問題も無く回るため、その行方を気にするのは八千代くらいのものであった。

何処かでそのお菓子を落としてしまつてみたいで…

これは私が拾つた私の物だぞ

え？…ええつと…

私のだぞ

おつ…お茶をお出ししますので…
ひとまず中へ如何ですか？

…貰おうか

あ……それ？

おっとと……どうしました？

ち……ちから……が……

……抜け……て

お茶熱かったですか？

火傷してないか
ちよっと確認しましょうね

や……やめ……

ア……ア……

ブルブル



ここすごく熱くなってますね
やっぱり火傷してるんじゃないかな

そんな…わけが

ビクッ

はな…せ…

湿っているし…やっぱりお茶が
かかったんじゃないかなあ

うっ…
触る…な…

じいじい
びん





やめ……ろお……っ!!

出っ……ちや……

シューシューシュー

んんんんんんんんんん

おしっこで消毒かな?

でもそれ迷信だったと思うなあ

だま……れっ……

止まら……な……っ

くっくっくっくっくっ

ハッハッ

シューシューシュー

シューシューシュー



くっ……このっ！

私を騙した…のか…っ!?

バレちゃったら仕方ないねえ

……っ！

ビク

その手を…どけ…っ

くっ……ううっ

なんで…こんな…っ

じいじ

ズンズン



オジサンはねえ

杏子ちゃんが大好きなんだよね

は…はあっ!?

それに…なんで名前を…っ

そんなの好きだからに
決まってるでしょう

んっ…の…っ

んっ…の…っ

大好きな杏子ちゃんに
僕のことを覚えてほしくてねえ

ここもこんなにヌルヌルになって

気持ち良いってことかな?

嬉しいなあ

く…そおっ!

んっ…の…っ

んっ…の…っ

んっ…の…っ



それ以上は……っ

ヤ……ヤバ……イツ

ほらほら

素直になって良いんだよ

やっ……

イツ……く……うっ!

もっ……やめっ……

オジサンを受け入れてくれて
すごく嬉しいなあ

もっともっと

気持ち良くしてあげるからね

嫌っ……だ……っ

ぐっ……うっ……うっ……!

グググ
グググ

グググ

グググ
グググ
グググ



ひっ……!?

な…何して…っ

クンニって知ってるかな?

杏子ちゃんのおまんこを
味わってるんだよ

…くうっ

経験ないかなあ?

そんなの…あるわけ…がっ

じゃあオジサンが初めてなんだ

嬉しいなあ

ひん

く…そ…っ

すっ
っ

んんん

べん





ふっ...ふっ...!

↓↓↓↓
↓↓↓↓

いっ...いい加減...にっ

う...う...う...さ...い...り...

気持ちいいかい?

舐められて

気持ちいい?

おまんこべちよべちよに

...ふっ...ぐっ
...うっ...うっ

ググ

しっ
しっ
しっ

おっ！

おっ…ほおっ！

僕の舌が

気持ちいいんだね

嬉しいなあ

やめ…ろ…おっ

もっともっと

気持ち良くしてあげるよお

おっ…おおっ！

おほおっ！



すごく良い格好だねえ

はな...せ...っ

杏子ちゃんのおまんこが

僕に食べられちゃうの

今度はよく見ててねえ

や...やめ...っ

あっ...ぐうっ

ぐわんぐわん

ぐんぐん

ぐんぐん

すごく柔らかくて

いくらでも舐めてられるなあ

ぐんぐん...ぐんぐん

ぐんぐん

トロトロのお汁が

どんどん溢れてくるねえ

やめ……るおっ

じゅっ

気持ちいいんでしょう？

ね？

そうですね？

う……う……お……

気持ち……よくなんか……

な……い……っ

ぐわっ

んんん

んんんんん
んんんんん



ま…またっ

イツ…く…っ

…いや…だっ

イツ…ぎ…っ

ぐっ…ぐっ…ぐっ…!!

杏子ちゃんのおまんこ

トロトロですごく美味しいよお

や…めっ

グッ

グッ

グッ

グッ

…

くっ……うっ

あ……開かな……いっ

帰っちゃダメだよお

立ってるのもやっとなんだから

く……そっ

ガッ

ガッガッ

くっ

帰りたく無くなるくらい

気持ちいいこといっばい

教えてあげるね

ズズズズ

いっ……いや……だっ

やめ……るおっ！

ガッガッ



ひっ…ぎっ

僕みたいなオジサンに

お尻の穴をほじくられて

うっ…うっ…

どんな気持ちかな？

ふ…ふざけ…っ

男の太い指を二本も啜え込んで

杏子ちゃんのおまんことお尻の穴は

気持ちいい気持ちいいって言ってるよ？

だま…れ…っ！

ガクガク

グハッ
グハッ
グハッ

しゅん

ガクガク

おっ！

…おほっ！

や…め…

ビュッ
ビュッ

お尻の穴でイクなんて

杏子ちゃんは変態なんだね

おっ

おっ

どんどん好きになっちゃうなあ

おほっ！

おっ…ほおおっ！

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ



私につ…

何を…飲ませ…た…っ!?

わかってるんじゃないの?

媚薬だよ

び・や・く

び…びや…く?

うっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

杏子ちゃんを変態にしちゃうお薬で

杏子ちゃんのための特注品なんだよ

そ…そんなもの…をつ

すごく高かったけど

買った甲斐があったなあ

く…く…く…



お薬には利尿作用もあるらしくてね

…なっ…なにを…言っ…

ひんひん

オシッコでお薬を身体から

出せるかもしれないよ？

ふざ…け…っ

くっくっくっ

フリフリ

ほらほら

僕が見ててあげるから

出してららよ？

やっ…やめ…るおっ！

ハッ

ハッ
ハッ
ハッ





あっ...で...ちや...っ

おっ!

おっほっ

おほっ...おっ

とっても素敵だよお

杏子ちゃん

もっともっと僕と楽しもうねえ

おっ

おほおほっ!

ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!

ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!

今度はこのオモチャで
楽しいゲームをしようか

な…なに…をっ

もしもイツちやつたら杏子ちゃんの負け

耐えられたら杏子ちゃんの勝ちだよ

ふざけん…な…っ!

負けたら罰ゲームだよー

く…その

それじゃゲームスタート!

やめ…るおっ!

うっ…ああっ!



くっ……くっくっ

もつと難易度をあげようか

オモチヤを一つ増やすよー

や……やめ……っ

変な……もの……っ

入れる……なっ！

ゴックン

おもしろくなってきたねえ

絶対にイカせてあげるからね

うっうっ

ぐっ……ぐっぐっ……っ！



罰ゲームとして

お薬を全部飲んでもらうよ

やめ……っ

く……そっ

トッ トッ トッ

どこに入れて……っ

トッ トッ トッ

杏子ちゃんのお尻は

美味しそうにゴクゴク飲んでるねえ

やっ……やめ……ろっ!!

あああっ!!

トッ トッ トッ



ふーっ……ふーっ

身体に必要なものは

美味しく感じるって言うでしょ？

イェッ

な……なに……がっ

言い……たい……

杏子ちゃんの身体が

これを求めているんだよ

ふ……ざけ……っ

ほらほら

美味しそうだねえ

ぐっ……ぐっ……ぐっ……！

ぐっ……ぐっ……

イェッ





あ……が……あ……っ

おー

飲み切れたねえ

素敵だよお

杏子ちゃん

おっ……がっ

あっ！

あっがああっ

ゴボゴボ

ツツツツツツ

ツツツツツツ

ツツツツツツ



ム……ム……ム……

は……はなせつ

そ……そこ押すなつ

……ううう……

し……舌……がっ

暴れ……てっ

く……ん……ん……ん……

クククク

クククク

クククク



おっおっ

……で……るっ

おしっこ……

止まら……な……っ

うっぐっ

飲む……なる

やめっ……

お……ほっ

おっおっ……おっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



も...も...も...

出な...いつ

す...吸う...なる

や...ば...っ

イ...く...っ!

う...う...う...

う...う...う...

ガクガク

ズンズン

ズンズン

ズンズン

杏子ちゃんのミルク美味しいねえ

お薬で身体が勘違いしちゃったかな？

うああっ

やめるっ！

い…痛っ…いいっ！

いや…だっ！

ああああっ！

クリトリスも段々と気持ちよくなるから

僕と一緒に頑張ろうねえ



杏子ちゃんがもっと

気持ち良くなってくれるように

オジサン頑張っちゃうよお

ひいっ

ズグツ

あ……ああ……

も……やめ……

ほら分かるかい？

ここもこんなに柔らかくなってるよ

ひっ

ぐうぐうぐうぐう！！

クンクン

しゅ

んんん

ちゅ





ひびく...びびり...ひびく!

ひびく!

オジサンもっと頑張っちゃうからねえ

すごく気持ち良さそうだねえ

びびり...びびり...びびり!

びびり...びびり...びびり!

びびり...びびり...びびり!



ひっ

な...何を...

歯ブラシでここを擦ったなら

気持ち良さそうだと思うってねえ

うん

や...やめ...

毛先が柔らかいタイプだから

きつと気持ちいいよ

まっ...

うん

うん

うん



ふっ……ぐううっ!!

やめ……ろおっ!!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

チクチクしちゃうかな?

ひいっ!!

でも気持ちいいんじゃない?

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



歯ブラシでもイクなんて
変態になっちゃったねえ

んんっ!
んんっ!
んんっ!

んんっ!
んんっ!

んおおっ!

んんっ!

んんっ...んんっ...んんっ...

杏子ちゃんのエッチなニオイが
ソファに染みついていくねえ

うう……くっ

まだまだエッチな汁が溢れて……

ゼーンと舐めとってあげるね

も……やめっ

うぐっ

んー美味しいねえ

くっくっくっ……





うっうっうっ

やめ……るおる

おまんこもお尻の穴も

トロトロに濡れてすごくエッチだよお

うっうっ

変態っ……がっ

杏子ちゃんとお揃いだねえ

わ……私……はっ

ちが……っ

ぐわんぐわん

グイグイ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

うっうっうっ！

イツ………

レレレレレレ

レレレレレレ

お尻の穴とおまんこほじくられて

よがってるなんて

ふっ……ぐり

これでも変態じゃないって言うのかなあ？

わた……しっ

ちがっ……うり

うっぐぐうっうっうっ！

レレレレレレ

クイクイクイ

レレレレレレ



そんなもので…なに…をつ

マッサージだよ

こういうのよく売ってるでしょ？

マ…マッサージ…だと？

ふざ…け…っ

杏子ちゃんの歳じゃ

使ったことも無いかな？

ぐわん

やっぱりスイッチを入れないと

マッサージにならないね

ス…スイッチ…？

何を…っ





スイツチオン!

……っ!

なん…だっ!?

こ…れえっ!

うっっ…うああっ!

やっぱりマッサージ機は

一味違うかな?

クワン

や…やめっ

あっっっっっっっ!

クワン

クワン

クワン



あああああっ！

あっ…があっ！

キキキキ

気に入ってくれたかな？
もつとごっこをほぐしてあげるね

おおっ

キキキ

ひっ…あっ

おおおおっ！

キキキキ
キキキキ
キキキキ
キキキキ
キキキキ

杏子ちゃんには

僕の色んなことを覚えてほしくてね

あつ……

あああつ

これが僕のチンポの形だよ

このお尻の穴でしっかり覚えてね

おつ……奥……にっ

あつたかいなあ

杏子ちゃんの体温が

すごく伝わるよ

ぬ……抜け……よっ

あああつ





お…奥っ

やめ…ろおっ

ズンズン

僕の精液の感触も

覚えてもらいたいなあ

おっ…ほっ！

何…かつ

出て…るっ！

熱っ…いいっ

グクグク

ズンズン

ズンズン

杏子ちゃんは僕の子供欲しいかい？

…なっ

ふざ…け…んなっ！

く…そっ

それじゃあ

もっとお尻の穴で楽しみたいんだね

そういう…ことじゃ…っ

な…いいっ

僕も杏子ちゃんの尻穴大好きだから

僕たち合うんじゃないかなあ

く…っ…っ…っ…っ



子供がいらないってことは

やっぱり杏子ちゃんも

まだまだ楽しみたいんだね

ひっ…い

ビクッ

や…めえ

杏子ちゃんが望むなら

愛玩用のペットとして

ずっと家にいてもいいんだよ

そんな…のっ

い…いや…だっ

ぐわっ

グキョ
グキョ

グキョ



ああっあああっ!!

おー

いっぱい搾られちゃうなあ

ひっあああっ!!

おまんこもこんなに指に吸い付いて

やっぱり子供が欲しくなっちゃったかな?

あっぐっ

あああっ!!

あああっ!!



杏子ちゃんの子供

僕やつぱり欲しくなつちやつたなあ

…ひっ！

重っ…い…

は…離せっ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

うっ…ぐっ

やめ…ろおっ！

こうすれば僕のこと

ずっと忘れないんじゃないかな？

い…いや…だっ！

うっ…うっ…

ここが杏子ちゃんの子宮口かなあ？

やっ…や…めっ

あっ…あああっ

僕の精液いっぱい注いであげるからね

ダメ…だっ

おっ…んっ！

出っ…てるっ

ぬっ…抜けっ！

杏子ちゃんの希望通り

いっぱい抜いてるからねえ

ち…がつ…あああっ！

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

お腹いっぱいに出してあげるからね

は…孕つ…む…っ

…い…やっ

あっ…がっ

きゆうきゆう締め付けて

おまんこが嬉しがってるねえ

うっおおおっ！

杏子ちゃんと子作りできて

僕も嬉しいよ

うぐっ

おおおおっ！

ガクガク

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

僕たちの子供

ちゃんとできると良いねえ

この後、結果として杏子が妊娠することになった。
気付けば彼女は自宅におり、あれは夢だったのではないかと考えた。
しかし身体に染みついた男の精液の臭い、そして下着の中にドロリと溢れる精液の感触に、あれが現実のものだったとわかった。
本来ならば警察に相談するべきだったが、ヤンキー上りの彼女にその発想はなかった。
報復しようにも男の家を思い出せず、ただただ自分だけが玩具のように弄ばれた事実を唇を噛みしめるのだった。

あ……ああ……うあ

は……あ……は

グググ
グググ

おととと

僕の子種がこぼれちゃうね

……あ

まだ日も変わらないし

もう少し楽しもうか

ね？

……いや……あ

ゴロッ

ググ

ググググ

それ届けてくれたんですか？

…ん？

誰だお前は

とあるファミレスで店長を務める白藤杏子は、小腹が空いたと思いつつふと窓の外を眺めるとそこに奇妙な物を見つけた。スナック菓子の袋が点々と、まるで誰かを誘い出すように続いているのである。小腹の空いていた杏子はそれを不審に思うこともなく、その菓子を追って店から姿を消してしまった。

しかし彼女がいなくとも店は何の問題も無く回るため、その行方を気にするのは八千代くらいのものであった。

何処かでそのお菓子を落としてしまつてみたいで…

これは私が拾つた私の物だぞ

え？…ええつと…

私のだぞ

おつ…お茶をお出ししますの…
ひとまず中へ如何ですか？

…貰おうか

あ……それ？

おっとと……どうしました？

ち……ちから……が……

……抜け……て

お茶熱かったですか？

火傷してないか
ちよっと確認しましょうね

や……やめ……

ア……ア……

ブルブル



ここすごく熱くなってますね
やっぱり火傷してるんじゃないかな

そんな…わけが

ビクッ

はな…せ

湿っているし…やっぱりお茶が
かかったんじゃないかなあ

うっ…
触る…な

じいじい
びん





やめ……ろお……っ!!

出っ……ちや……

スプレー

……

おしっこで消毒かな?

でもそれ迷信だったと思うなあ

だま……れっ……

止まら……な……っ

くっ……っ……

ハバハバ

スプレー

ハバハバ

くっ…このっ！

私を騙した…のか…っ!?

バレちゃったら仕方ないねえ

…っ！

VINK

その手を…どけ…っ

くっ…ううっ

なんで…こんな…っ

じいじ

モソモソ



オジサンはねえ

杏子ちゃんが大好きなんだよね

は…はあっ!?

それに…なんで名前を…っ

そんなの好きだからに
決まってるでしょう

あ…の…っ

あ…の…っ

ゴ…ッ

ゴ…ッ

あ…の…っ

大好きな杏子ちゃんに
僕のことを覚えてほしくてねえ

ここもこんなにヌルヌルになって

気持ち良いってことかな?

嬉しいなあ

く…そおっ!



それ以上は……っ

ヤ……ヤバ……イツ

ほらほら

素直になって良いんだよ

やっ……

イツ……く……うっ!

もっ……やめっ……

オジサンを受け入れてくれて
すごく嬉しいなあ

もっともっと

気持ち良くしてあげるからね

嫌っ……だ……っ

ぐっ……うっ……うっ……!

グググ
グググ

グググ

グググ
グググ
グググ



ひっ……!?

な…何して…っ

クンニって知ってるかな?

杏子ちゃんのおまんこを
味わってるんだよ

…くうっ

経験ないかなあ?

そんなの…あるわけ…がっ

じゃあオジサンが初めてなんだ

嬉しいなあ

ひん

く…そ…る

すっ

べん

ん





ふっ...ふっ...!

↓↓↓↓
↓↓↓↓

いっ...いい加減...にっ

う...うるさ...いっ

気持ちいいかい?

舐められて

気持ちいい?

おまんこべちよべちよに

...ふっ...ぐっ
...うっ

グッ

しっ
しっ
しっ

おっ！

おっ…ほおっ！

僕の舌が

気持ちいいんだね

嬉しいなあ

やめ…ろ…おっ

もっともっと

気持ち良くしてあげるよお

おっ…おおっ！

おほおっ！



すごく良い格好だねえ

はな...せ...っ

杏子ちゃんのおまんこが

僕に食べられちゃうの

今度はよく見ててねえ

や...やめ...っ

あっ...ぐうっ

ぐわんぐわん

ぐんぐん

ぐんぐん

すごく柔らかくて

いくらでも舐めてられるなあ

ぐんぐん...ぐんぐん

ぐんぐん

トロトロのお汁が

どんどん溢れてくるねえ

やめ……るおっ

じゅっ

気持ちいいんでしょう？

ね？

そうですね？

う……う……お……

気持ち……よくなんか……

な……い……っ

ぐわっ

んんん

んんんんん
んんんんん



ま…またっ

イツ…く…っ

…いや…だっ

イツ…ぎ…っ

ぐっ…ぐっ…ぐっ…!!

杏子ちゃんのおまんこ

トロトロですごく美味しいよお

や…めっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

…っ…っ…っ…っ…っ…っ…



くっ……うっ

あ……開かな……いっ

帰っちゃダメだよお

立ってるのもやっとなんだから

く……そっ

ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

くちゅ

ズズズズ

帰りたく無くなるくらい

気持ちいいこといっぱい

教えてあげるね

いっ……いや……だっ

やめ……るおっ！

ガッ
ガッ
ガッ



ひっ……ぎっ

僕みたいなオジサンに

お尻の穴をほじくられて

うっ……ぐっ……

どんな気持ちかな？

ふ……ふざけ……っ

男の太い指を二本も啜え込んで

杏子ちゃんのおまんことお尻の穴は

気持ちいい気持ちいいって言ってるよ？

だま……れ……っ！

ガクガク

ガクガク

グハッ
グハッ
グハッ

ぐっ

ぐっ



おっ！

…おほっ！

や…め…

ビュッ
ビュッ

お尻の穴でイクなんて

杏子ちゃんの変態なんだね

おっ

おっ

どんどん好きになっちゃうなあ

おほっ！

おっ…ほおおっ！

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ



私につ…

何を…飲ませ…た…っ!?

わかってるんじゃないの？

媚薬だよ

び・や・く

び…びや…く？

うっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

ぐっ…ぐっ

杏子ちゃんを変態にしちゃうお薬で

杏子ちゃんのための特注品なんだよ

そ…そんなもの…をつ

すごく高かったけど

買った甲斐があったなあ

く…く…く…



お薬には利尿作用もあるらしくてね

…なっ…なにを…言っ…

ひんひん

オシッコでお薬を身体から

出せるかもしれないよ？

ふざ…け…っ

くっくっくっ

フリフリ

ほらほら

僕が見てあげてるから

出してららよ？

やっ…やめ…るおっ！

グ

グ
グ
グ





あつ……で……ちや……っ

おっ!

おっほっ

おほっ……おっ

とっても素敵だよお

杏子ちゃん

もっともつと僕と楽しもうねえ

おおっ

おほおおっ!

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ

今度はこのオモチャで
楽しいゲームをしようか

な…なに…をっ

もしもイツちやつたら杏子ちゃんの負け

耐えられたら杏子ちゃんの勝ちだよ

ふざけん…な…っ!

負けたら罰ゲームだよー

く…その

それじゃゲームスタート!

やめ…るおっ!

うっ…ああっ!



くっ……くっくっ

もつと難易度をあげようか

オモチヤを一つ増やすよー

や……やめ……っ

変な……もの……っ

入れる……なるっ！

ズワッ
ズワッ
ズワッ

おもしろくなってきたねえ

絶対にイカせてあげるからね

うっうっ

ぐっぐっ……うっうっ……っ！



もう「っ増やしても良さそうだねえ

い...いや...だっ!

や...め...

...イツ...ぐうっ!

うううう...!!

僕の勝ちみたいだねえ

もう...もうイツで...る!!

わたし...の...負け...だからっ

も...やめ...っ

ん...!!



罰ゲームとして

お薬を全部飲んでもらうよ

やめ……っ

く……ぞっ

グッグッグッ

どこに入れて……っ

グッグッグッ

杏子ちゃんのお尻は

美味しそうにゴクゴク飲んでるねえ

やっ……やめ……ろっ!!

あああっ!!

グッグッ



ふーっ……ふーっ

身体に必要なものは

美味しく感じるって言うでしょ？

イェッ

な……なに……がっ

言い……たい……

杏子ちゃんの身体が

これを求めているんだよ

ふ……ざけ……っ

ほらほら

美味しそうだねえ

ぐっ……ぐっ……ぐっ……！

ぐっ
ぐっ
ぐっ

イェッ
イェッ
イェッ





あ……が……あ……っ

おー

飲み切れたねえ

素敵だよお

杏子ちゃん

おっ……がっ

あっ！

あっがああっ

ゴボゴボ

ツツツツツツ

ツツツツツツ

ツツツツツツ



ム……ム……ム……

は……はなせつ

そ……そこ押すなつ

……う……う……

し……舌……がっ

暴れ……てっ

く……ん……ん……ん……

ク……ク……ク……

ク……ク……ク……

ク……ク……ク……



おっおっ

……で……るっ

おしっこ……

止まら……な……っ

うっぐっ

飲む……なっ

やめっ……

お……ほっ

おっおっ……おっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



も...も...も...

出な...いつ

す...吸う...なる

や...ば...っ

イ...く...っ!

う...う...う...

う...う...う...

ガクガク

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

杏子ちゃんのミルク美味しいねえ

お薬で身体が勘違いしちゃったかな？

うああっ

やめるっ！

い…痛っ…いいっ！

クリトリスも段々と気持ちよくなるから

僕と一緒に頑張ろうねえ

いや…だっ！

ああああっ！



杏子ちゃんがもっと

気持ち良くなってくれるように

オジサン頑張っちゃうよお

ひいっ

レックッ

あ……ああ……

も……やめ……

ほら分かるかい？

ここもこんなに柔らかくなってるよ

ひっ

ぐうぐうぐうぐう！！

クマクマ

しゅん

じゅん

んんん





ひびく...びびり...ひびく!

ひびく!

オジサンもっと頑張っちゃうからねえ

すごく気持ち良さそうだねえ

びびり...びびり...びびり!

びびり...びびり...びびり!

びびり...びびり...びびり!



ひっ

な...何を...っ

歯ブラシでここを擦ったら

気持ち良さそうだと思ってねえ

びびっ

びびっ

や...やめ...

毛先が柔らかいタイプだから

きつと気持ちいいよ

まっ...

びびっ



ふっ……ぐううっ!!

やめ……ろおっ!!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

チクチクしちゃうかな?

ひいっ!!

でも気持ちいいんじゃない?

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

杏子ちゃんのエッチなニオイが
ソファに染みついていくねえ

うう……くっ

ハハハハハハ

まだまだエッチな汁が溢れて……

ゼーンと舐めとってあげるね

も……やめっ

うぐっ

んー美味しいねえ

くっくっくっ……

ハハハハハハ

ハハハハハハ





ううううう

やめ……るおる

ぐわんぐわんぐわんぐわん

おまんこもお尻の穴も

トロトロに濡れてすごくエッチだよお

ううう

変態っ……がっ

杏子ちゃんとお揃いだねえ

わ……私……はっ

ちが……っ

しゅわん
ぐわんぐわんぐわん

グワイグワイ

ぐわんぐわんぐわんぐわん



うっうっうっ！

イッ……イッ……イッ……！

クッッッッ

クッッッッ

お尻の穴とおまんこほじくられて

よがってるなんて

ふっ……ぐり

これでも変態じゃないって言うのかなあ？

わた……しっ

ちがっ……うっ

うっぐぐうっぐぐうっぐぐうっ！

クッッッッ

クッッッッ

クッッッッ

そんなもので…なに…をつ

マッサージだよ

こういうのよく売ってるでしょ？

マ…マッサージ…だと？

ふざ…け…っ

杏子ちゃんの歳じゃ

使ったことも無いかな？

ぐわん

やっぱりスイッチを入れないと

マッサージにならないね

ス…スイッチ…？

何を…っ





スイツチオン!

……っ!

なん…だっ!?

こ…れえっ!

うっ…うっ…うあぁっ!

やっぱりマッサージ機は

一味違うかな?

クワン

や…やめっ

あ…うっ…うっ…うっ…!

クワン

クワン

クワン



あああああっ!

あっ...があっ!

ツィツィ

気に入ってくれたかな？
もっとうごをほぐしてあげるね

おおっ

ツィツィ

ひっ...あっ

おおおおっ!

ツィツィ

ツィツィ

杏子ちゃんには

僕の色んなことを覚えてほしくてね

あつ……

あああつ

これが僕のチンポの形だよ

このお尻の穴でしっかり覚えてね

おつ……奥……にっ

あつたかいなあ

杏子ちゃんの体温が

すごく伝わるよ

ぬ……抜け……よっ

あああつ





お…奥っ

やめ…ろおっ

ズンズン

僕の精液の感触も

覚えてもらいたいなあ

おっ…ほっ！

何…かつ

出て…るっ！

熱っ…いいっ

ズンズン

ズンズン

ズンズン



おおっ

いくらでも搾り取られちゃうなあ

ジュジュジュ

ググググ

やめっ...

や...めるおっ!

杏子ちゃんの尻穴すごく気持ちいいよお

おおっ!

おっほおおっ!

おっあああおっ!

ググググ

ググググ

杏子ちゃんは僕の子供欲しいかい？

…なっ

ふざ…け…んなっ！

く…そっ

それじゃあ

もっとお尻の穴で楽しみたいんだね

そういう…ことじゃ…っ

な…いいっ

僕も杏子ちゃんの尻穴大好きだから

僕たち合うんじゃないかなあ

く…っ…う…っ…っ

はっはっはっ

はっはっはっ

子供がいらないってことは

やっぱり杏子ちゃんも

まだまだ楽しみたいんだね

ひっ…い

ビクッ

や…めえ…

杏子ちゃんが望むなら

愛玩用のペットとして

ずっと家にいてもいいんだよ

そんな…のっ

い…いや…だっ

ぐわっ

グキョ
グキョ

グキョ



ああっあああっ！

おー

いっぱい搾られちゃうなあ

ひっあああっ！

おまんこもこんなに指に吸い付いて

やっぱり子供が欲しくなっちゃったかな？

あっぐっ

あああっ！

あああっ！



杏子ちゃんの子供

僕やつぱり欲しくなっちゃったなあ

…ひっ！

重っ…い…

は…離せっ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

うっ…ぐっ

やめ…ろおっ！

こうすれば僕のこと

ずっと忘れないんじゃないかな？

い…いや…だっ！

うっ…うっ…

ここが杏子ちゃんの子宮口かなあ？

やつ…や…めっ

あつ…あああつ

僕の精液いっぱい注いであげるからね

ダメ…だっ

おっ…んっ！

出っ…てるっ

ぬっ…抜けっ！

杏子ちゃんの希望通り

いっぱい抜いてるからねえ

ち…がつ…あああつ！

ズツツツツ

ズツツ

ズツツ

ズツツ

お腹いっぱいに出してあげるからね

は...孕つ...む...っ

...い...やっ

あっ...がっ

きゆうきゆう締め付けて

おまんこが嬉しがってるねえ

うっおおおっ!

杏子ちゃんと子作りできて

僕も嬉しいよ

うぐっ

おおおおっ!

ガクガク

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

僕たちの子供

ちやんとできると良いねえ

この後、結果として杏子が妊娠することになった。
気付けば彼女は自宅におり、あれは夢だったのではないかと考えた。
しかし身体に染みついた男の精液の臭い、そして下着の中にドロリと溢れる精液の感触に、あれが現実のものだったとわかった。
本来ならば警察に相談するべきだったが、ヤンキー上りの彼女にその発想はなかった。
報復しようにも男の家を思い出せず、ただただ自分だけが玩具のように弄ばれた事実を唇を噛みしめるのだった。

あ……ああ……うあ

は……あ……は

ゴブゴブ

ググ

ゴッ

……あ

おとつと

僕の子種がこぼれちゃうね

まだ日も変わらないし

もう少し楽しもうか

ね？

……いや……あ

それ届けてくれたんですか？

…ん？

誰だお前は

何処かでそのお菓子を落として
しまつてみたいで…

これは私が拾つた私の物だぞ

え？…ええつと…

私のだぞ

おつ…お茶をお出ししますので…
ひとまず中へ如何ですか？

…貰おうか

とあるファミレスで店長を務める白藤杏子は、小腹が空いたと思いつつふと窓の外を眺めるとそこに奇妙な物を見つけた。スナック菓子の袋が点々と、まるで誰かを誘い出すように続いているのである。小腹の空いていた杏子はそれを不審に思うこともなく、その菓子を追って店から姿を消してしまった。しかし彼女がいなくとも店は何の問題も無く回るため、その行方を気にするのは八千代くらいのものだった。

ガザッ

あ……それ？

おっと……どうしました？

ち……ちから……が……

……抜け……て

お茶熱かったですか？

火傷してないか
ちよつと確認しましょうね

や……やめ……

ずし……

ブル……



ここすごく熱くなってますね
やっぱり火傷してるんじゃないかな

そんな...わけが

はな...せ

湿っているし...やっぱりお茶が
かかったんじゃないかなあ

うっ...
触る...な

じい...
びん



やめ……ろお……っ!!

出っ……ちや……

レレレレレレレ
……っ……っ……っ……っ……っ……

おしっこで消毒かな?

でもそれ迷信だったと思うなあ

だま……れっ……

止まら……な……っ

くっ……っ……っ……っ……っ……

ハッハッ

ガッガッ

ハッハッ
ハッハッ
ハッハッ



くっ…このっ！

私を騙した…のか…っ!?

バレちゃったら仕方ないねえ

くっ…!!

VINK

その手を…どけ…っ

くっ…ううっ

なんで…こんな…っ

じいじ

モソモソ



オジサンはねえ

杏子ちゃんが大好きなんだよね

は…はあっ!?

それに…なんで名前を…っ

そんなの好きだからに
決まってるでしょう

んっ…の…っ

んっ…の…っ

大好きな杏子ちゃんに
僕のことを覚えてほしくてねえ

ここもこんなにヌルヌルになって

気持ち良いってことかな?

嬉しいなあ

く…そおっ!



それ以上は……っ

ヤ……ヤバ……イツ

ほらほら

素直になって良いんだよ

やっ……

イツ……く……うっ!

もっ……やめっ……

オジサンを受け入れてくれて
すごく嬉しいなあ

もっともっと

気持ち良くしてあげるからね

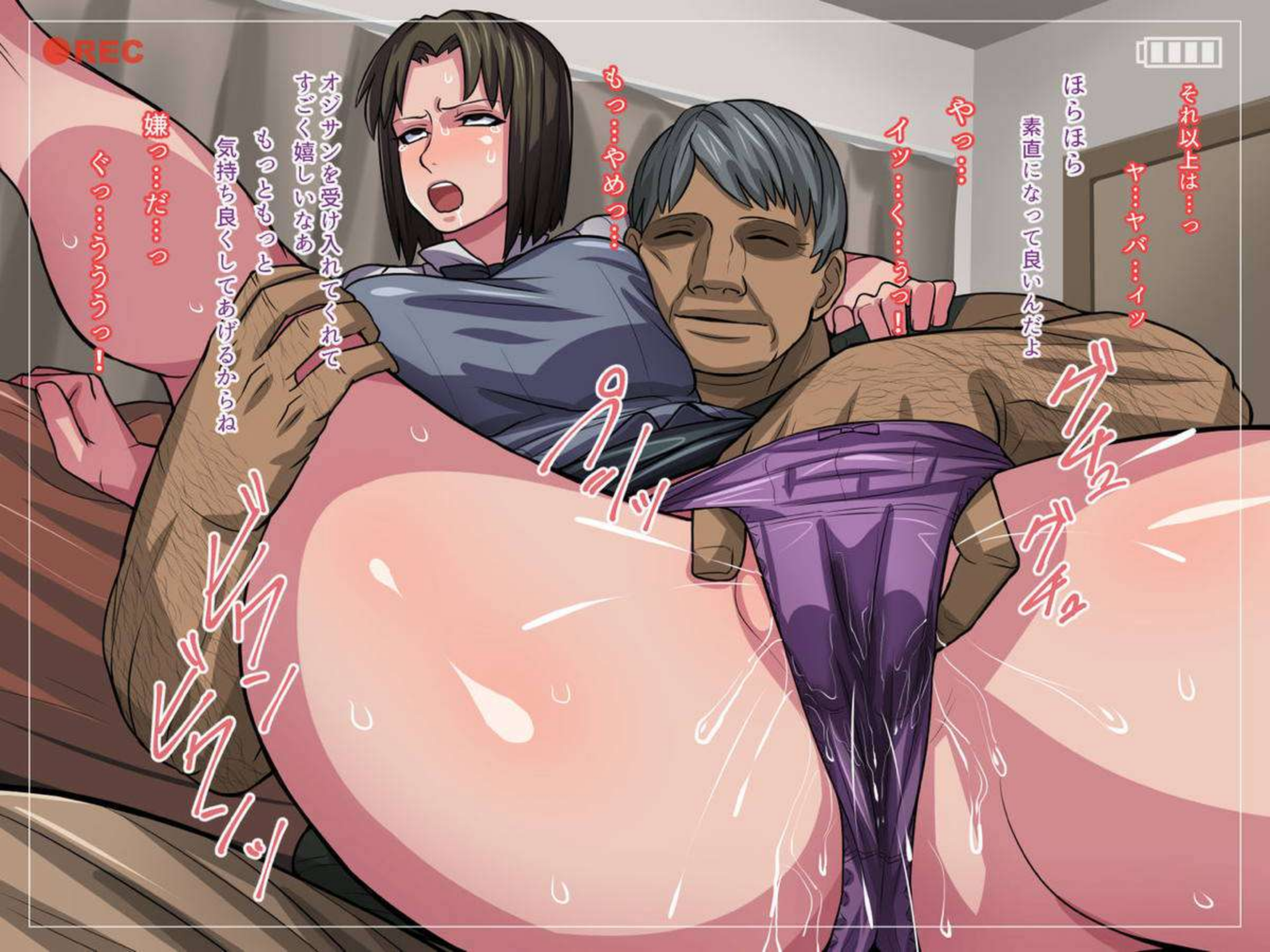
嫌っ……だ……っ

ぐっ……うっ……うっ……!

グググ
グググ

グググ

グググ
グググ
グググ



ひっ…!?

な…何して…っ

クンニって知ってるかな?

杏子ちゃんのおまんこを
味わってるんだよ

…くうっ

経験ないかなあ?

そんなの…あるわけ…がっ

じゃあオジサンが初めてなんだ

嬉しいなあ

ひん

く…そ…る

すっ

んん

べん



ふっ……ふっ……!

↓↓↓↓
↑↑↑↑

いっ……いい加減……にっ

う……うるさ……いっ

気持ちいいかい?

舐められて

おまんこべちよべちよに

気持ちいい?

……うっ

……ふっ……ぐっ

グッ

しっ
はっ
はっ



おっ！

おっ…ほおっ！

僕の舌が

気持ちいいんだね

嬉しいなあ

やめ…ろ…おっ

もっともっと

気持ち良くしてあげるよお

おっ…おおっ！

おほおっ！



すごく良い格好だねえ

はな...せ...っ

杏子ちゃんのおまんこが

僕に食べられちゃうの

今度はよく見ててねえ

や...やめ...っ

あっ...ぐうっ

んんん

ぐんぐん

べんげん

すごく柔らかくて

いくらでも舐めてられるなあ

んんんんん...

んんん



トロトロのお汁が
どんどん溢れてくるねえ

やめ……るおっ

じゅっ

気持ちいいんでしょう？

ね？

そうですね？

う……う……う……

気持ち……よくなんか……

な……い……っ

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん



くっ……うっ

あ……開かな……いっ

帰っちゃダメだよお

立ってるのもやっとなんだから

く……そっ

ガッ

ガッガッ

くっ

帰りたく無くなるくらい

気持ちいいこといっばい

教えてあげるね

いっ……いや……だっ

やめ……るおっ！

ガッガッ

ズズズズ



ひっ……ぎっ

僕みたいなオジサンに

お尻の穴をほじくられて

うっ……ぐっ

どんな気持ちかな？

ふ……ふざけ……っ

男の太い指を二本も啜え込んで

杏子ちゃんのおまんことお尻の穴は

気持ちいい気持ちいいって言ってるよ？

だま……れ……っ！

ガクガク

ガクガク

グハッ
グハッ
グハッ

ぐっ

ぐっ



おっ！

…おほっ！

や…め…る

ヴァン
ヴァン

お尻の穴でイクなんて

杏子ちゃんの変態なんだね

おっ

おっ

どんどん好きになっちゃうなあ

おほっ！

おっ…ほおおっ！

ガクッ

ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

ヴァン
ヴァン



私につ...

何を...飲ませ...た...っ!?

わかってるんじゃないの?

媚薬だよ

び・や・く

び...びや...く?

うっ...ぐっ

杏子ちゃんを変態にしちゃうお薬で

杏子ちゃんのための特注品なんだよ

そ...そんなものをっ

すごく高かったけど

買った甲斐があったなあ

く...そ...っ

ズズズズ

ズズズ



お薬には利尿作用もあるらしくてね

…なっ…なにを…言って…

ひびひび

オシッコでお薬を身体から

出せるかもしれないよ？

ふざ…け…っ

くっくっくっ

フリフリ

ほらほら

僕が見てあげてるから

出してららよ？

やっ…やめ…るおっ！

ハハ

ハハハ





あつ……で……ちや……っ

おっ!

おっほっ

おほっ……おっ

とっても素敵だよお

杏子ちゃん

もっともつと僕と楽しもうねえ

おおっ

おほおおっ!

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

今度はこのオモチャで
楽しいゲームをしようか

な…なに…をっ

もしもイツちやつたら杏子ちゃんの負け

耐えられたら杏子ちゃんの勝ちだよ

ふざけん…な…っ!

負けたら罰ゲームだよー

く…その

それじゃゲームスタート!

やめ…るおっ!

うっ…ああっ!



くっ……くっくっ

もつと難易度をあげようか

オモチヤを一つ増やすよー

や……やめ……っ

変な……もの……っ

入れる……なるっ!

ズワッ
ズワッ
ズワッ

おもしろくなってきたねえ

絶対にイカせてあげるからね

ううっ

ぐっ……ぐっぐっ……っ!



罰ゲームとして

お薬を全部飲んでもらうよ

やめ……っ

く……ぞっ

グッグッ

どこに入れて……っ

グッグッ

杏子ちゃんのお尻は

美味しそうにゴクゴク飲んでるねえ

やっ……やめ……ろっ!!

あああっ!!

グッグッ



ふーっ……ふーっ

身体に必要なものは

美味しく感じるって言うでしょ？

イェッ

な……なに……がっ

言い……たい……

杏子ちゃんの身体が

これを求めているんだよ

ふ……ざけ……っ

イェッ

ほらほら

美味しそうだねえ

イェッ

ぐっ……ぐっ……ぐっ……



あ……が……あ……っ

おー

飲み切れたねえ

素敵だよお

杏子ちゃん

あっ！

おっ……がっ

あっがああっ

ゴボゴボ

ツツツツツツ

ツツツツツツ

ツツツツツツ



ト……タイレ……たり

は……はなせつ

そ……そこ押すなつ

……うっうっ！

し……舌……がっ

暴れ……てっ

く……ん……ん……ん

×××××
×××××

く……ん……ん……ん

く……ん……ん……ん



おっおっ

……で……るっ

おしっこ……

止まら……な……っ

うっぐっ

飲む……なる

やめっ……

お……ほっ

おっ……おっ

ビュッ

ビュッ

びゅっ

びゅっ

びゅっ

びゅっ



●REC



出な...いつ

も...も...う...

す...吸う...なる

や...ば...っ

イ...く...っ!

う...う...っ!

う...う...っ!

ガクガク

ズクズク

ズクズク

ズクズク



杏子ちゃんのミルク美味しいねえ

お薬で身体が勘違いしちゃったかな？

うああっ

やめるっ！

い…痛っ…いいっ！

いや…だっ！

ああああっ！

僕と一緒に頑張ろうねえ

クリトリスも段々と気持ちよくなるから



杏子ちゃんがもっと

気持ち良くなってくれるように

オジサン頑張っちゃうよお

ひいっ

レックッ

あ……ああ……っ

も……やめ……っ

ほら分かるかい？

ここもこんなに柔らかくなってるよ

ひっ

ぐうぐうぐうっ！！

クンクン

しゅっ
しゅっ

んんん
んんん

じゅっ
じゅっ





ひびく...びびり...!

ひびく!

オジサンもっと頑張っちゃうからねえ

すごく気持ち良さそうだねえ

びびり...びびり...!

びびり...びびり...!

びびり...びびり...!

ひっ
な...何を...っ

歯ブラシでここを擦ったら
気持ち良さそうだと思ってねえ

や...やめ...

毛先が柔らかいタイプだから

きつと気持ちいいよ

まっ...



でも気持ちいいんじゃない？

ひいっ！

チクチクしちゃうかな？

ぐわんぐわん

ふっ……ぐううっ！

やめ……ろおっ！

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん……ぐわんぐわん……ぐわんぐわん……



ひいつ!
んんんんんっ!

歯ブラシでもイクなんて
変態になっちゃったねえ

んぐううっ!

んおおっ!

んんっ!

んんっ...おっ...SSSSO~



杏子ちゃんのエッチなニオイが
ソファに染みついていくねえ

うう……くっ

まだまだエッチな汁が溢れて……

ゼーンぶ舐めとってあげるね

も……やめっ

うぐっ

んー美味しいねえ

くっくっくっ……





うっうっうっ

やめ……るおる

ぐわんぐわん

おまんこもお尻の穴も

トロトロに濡れてすごくエッチだよお

うっうっ

変態っ……がっ

杏子ちゃんとお揃いだねえ

わ……私……はっ

ちが……っ

しゅわん
ぐわんぐわん

グワイグワイ

ぐわんぐわん



これでも変態じゃないって言うのかなあ？

お尻の穴とおまんこほじくられて

よがってるなんて

ふっ…ぐり

わた…しっ
ちがつ…ぐり

うっぐり…ぐり…！

うっぐり…！

イッ…ぐり…！

ぐりぐりぐりぐり

グイグイグイ

ぐりぐりぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

そんなもので…なに…をつ

マッサージだよ

こういうのよく売ってるでしょ？

マ…マッサージ…だと？

ふざ…け…っ

杏子ちゃんの歳じゃ

使ったことも無いかな？

ぐわん

やっぱりスイッチを入れないと

マッサージにならないね

ス…スイッチ…？

何を…っ



スイツチオン!

なん…だっ!?

こ…れえっ!

…っ!

うっ…うっ…うっあぁっ!

やっぱりマッサージ機は

一味違うかな?

クワン

や…やめっ

あ…うっ…うっ…うっ…!



REC



ひっ...あっ
おおおおっ!

おおっ

気に入ってくれたかな？
もっとうごをほぐしてあげるね

あっ...があっ!
ツイツイ

あああああっ!



杏子ちゃんには
僕の色んなことを覚えてほしくてね

あつ……

あああつ

これが僕のチンポの形だよ

このお尻の穴でしっかり覚えてね

おつ……奥……にっ

あつたかいなあ

杏子ちゃんの体温が

すごく伝わるよ

ぬ……抜け……よっ

あああつ



お…奥っ

やめ…ろおっ

ズンズン

僕の精液の感触も

覚えてもらいたいなあ

おっ…ほっ！

何…かつ

出て…るっ！

熱っ…いいっ

グクグク

ズンズン

ズンズン



おおっ

いくらでも搾り取られちゃうなあ

ジュンジュン

グッグッ

やめっ...

や...めるおっ!

杏子ちゃんの尻穴すごく気持ちいいよお

おおっ!

おっほおおっ!

おっあああおっ!

ジュンジュン

グッグッ



杏子ちゃんは僕の子供欲しいかい？

…なっ

ふざ…け…んなっ！

く…そっ

それじゃあ

もっとお尻の穴で楽しみたいんだね

そういう…ことじゃ…っ

な…いいっ

僕も杏子ちゃんの尻穴大好きだから

僕たち合うんじゃないかなあ

く…っ…っ…っ…っ

挿入

っ…っ…っ



子供がいらないってことは

やっぱり杏子ちゃんも

まだまだ楽しみたいんだね

ひっ…い

ビクッ

や…めえ

杏子ちゃんが望むなら

愛玩用のペットとして

ずっと家にいてもいいんだよ

そんな…のっ

い…いや…だっ

ぐわっ

グキョ

グキョ



ああっあああっ!!

おー

いっぱい搾られちゃうなあ

ひっあああっ!!

おまんこもこんなに指に吸い付いて

やっぱり子供が欲しくなっちゃったかな?

あっぐっ

あああっ!!

あああっ!!



杏子ちゃんの子供

僕やつぱり欲しくなっちゃったなあ

…ひっ！

重っ…い…

は…離せっ

ズ
ズ
ズ

うっ…ぐっ

やめ…ろおっ！

こうすれば僕のこと

ずっと忘れないんじゃないかな？

い…いや…だっ！

うっ…うっ…

ズ
ズ
ズ



ここが杏子ちゃんの子宮口かなあ？

やつ…や…めっ

あっ…あああっ

僕の精液いっぱい注いであげるからね

ダメ…だっ

おっ…んっ！

出っ…てるっ

ぬっ…抜けっ！

杏子ちゃんの希望通り

いっぱい抜いてるからねえ

ち…がっ…あああっ！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



ガクガク

おおおおっ!

うぐっ

僕も嬉しいよ

杏子ちゃんと子作りできて

うっおおおっ!

おまんこが嬉しがってるねえ

きゆうきゆう締め付けて

あっ…がっ

…い…やっ

は…孕っ…むっ

お腹いっぱいに出してあげるからね

グッ

グッ

グッ

グッ

僕たちの子供

ちやんとできると良いねえ

この後、結果として杏子が妊娠することになった。気付けば彼女は自宅におり、あれは夢だったのではないかと考えた。しかし身体に染みついた男の精液の臭い、そして下着の中にドロリと溢れる精液の感触に、あれが現実のものだったとわかった。本来ならば警察に相談するべきだったが、ヤンキー上りの彼女にその発想はなかった。報復しようにも男の家を思い出せず、ただただ自分だけが玩具のように弄ばれた事実を唇を噛みしめるのだった。

あ……ああ……うあ

は……あ……は

ググググ

おととと

僕の子種がこぼれちゃうね

あ……あ……あ

まだ日も変わらないし

もう少し楽しもうか

ね？

あ……あ……あ

グググ

グググ

グググ

それ届けてくれたんですか？

…ん？

誰だお前は

何処かでそのお菓子を落として
しまつてみたいで…

これは私が拾つた私の物だぞ

え？…ええつと…

私のだぞ

おつ…お茶をお出ししますので…
ひとまず中へ如何ですか？

…貰おうか

とあるファミレスで店長を務める白藤杏子は、小腹が空いたと思いつつふと窓の外を眺めるとそこに奇妙な物を見つけた。スナック菓子の袋が点々と、まるで誰かを誘い出すように続いているのである。小腹の空いていた杏子はそれを不審に思うこともなく、その菓子を追って店から姿を消してしまった。しかし彼女がいなくとも店は何の問題も無く回るため、その行方を気にするのは八千代くらいのものであった。

ガザッ

あ……それ？

おっと……どうしました？

ち……ちから……が……

……抜け……て

お茶熱かったですか？

火傷してないか
ちよつと確認しましょうね

や……やめ……

ずし……

ブル……



ここすごく熱くなってますね
やっぱり火傷してるんじゃないかな

そんな...わけが

はな...せ

湿っているし...やっぱりお茶が
かかったんじゃないかなあ

うっ...
触る...な

じいじい
びん





やめ……ろお……っ!!

出っ……ちや……

くっ……くっ……くっ……

くっ……くっ……くっ……

おしっこで消毒かな?

でもそれ迷信だったと思うなあ

だま……れっ……

止まら……な……っ

くっ……くっ……くっ……

ハッ……

くっ……くっ……くっ……

くっ……くっ……くっ……

くっ…このっ！

私を騙した…のか…っ!?

バレちゃったら仕方ないねえ

くっ…!!

VINK

その手を…どけ…っ

くっ…ううっ

なんで…こんな…っ

じいじ

モソモソ



オジサンはねえ
杏子ちゃんが大好きなんだよね

は…はあっ!?

それに…なんで名前を…っ

そんなの好きだからに
決まってるでしょう

ん…の…っ

ん…の…っ

大好きな杏子ちゃんに
僕のことを覚えてほしくてねえ

ここもこんなにヌルヌルになって

気持ち良いってことかな?

嬉しいなあ

く…そおっ!



それ以上は……っ

ヤ……ヤバ……イツ

ほらほら

素直になって良いんだよ

やっ……

イツ……く……うっ!

もっ……やめっ……

オジサンを受け入れてくれて
すごく嬉しいなあ

もっともっと

気持ち良くしてあげるからね

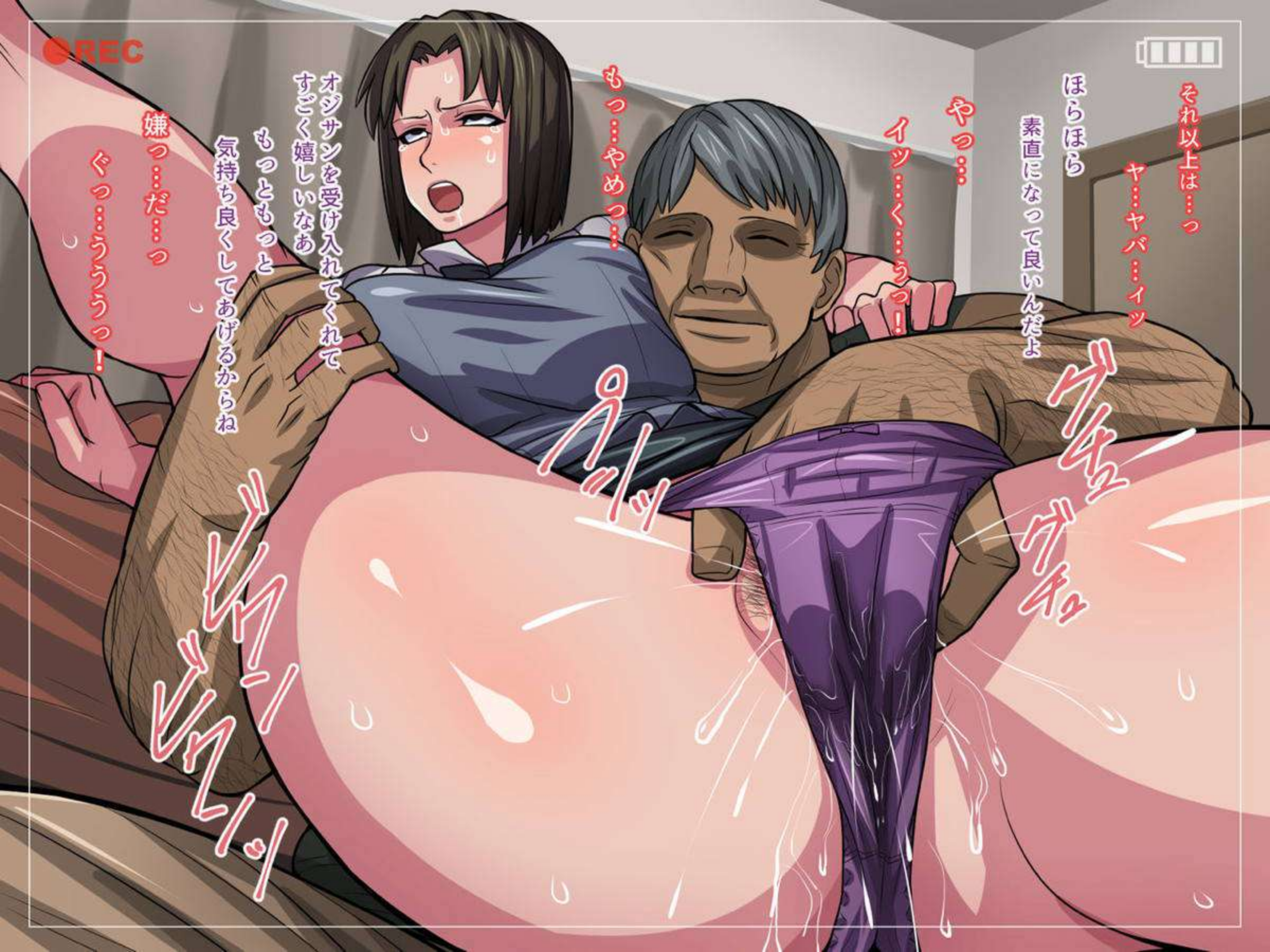
嫌っ……だ……っ

ぐっ……うっ……うっ……!

グググ
グググ

グググ

グググ
グググ
グググ



ひっ…!?

な…何して…っ

クンニって知ってるかな?

杏子ちゃんのおまんこを
味わってるんだよ

…くうっ

経験ないかなあ?

そんなの…あるわけ…がっ

じゃあオジサンが初めてなんだ

嬉しいなあ

ひん

く…そ…る

すっ

ひん

べん



ふっ……ふっ……!

↓↓↓↓
↑↑↑↑

いっ……いい加減……にっ

う……うるさ……いっ

気持ちいいかい?

舐められて

おまんこべちよべちよに

気持ちいい?

……うっ

……ふっ……ぐっ

グハッ

しっ
はっ
はっ
はっ



おっ！

おっ…ほおっ！

僕の舌が

気持ちいいんだね

嬉しいなあ

やめ…ろ…おっ

もっともっと

気持ち良くしてあげるよお

おっ…おおっ！

おほおっ！



すごく良い格好だねえ

はな...せ...っ

杏子ちゃんのおまんこが

僕に食べられちゃうの

今度はよく見ててねえ

や...やめ...っ

あっ...ぐうっ

んんん

ぐんぐん

べんげん

すごく柔らかくて

いくらでも舐めてられるなあ

んんんんん...んんん

んんん



トトロトトロのお汁が
どんどん溢れてくるねえ

やめ……るおっ

じゅっ

気持ちいいんでしょう？

ね？

そうですね？

う……う……う……

気持ち……よくなんか……

な……い……っ

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん



ま…またっ

イツ…く…っ

…いや…だっ

イツ…ぎ…っ

ぐっ…ぐっ…ぐっ…!!

杏子ちゃんのおまんこ

トロトロですごく美味しいよお

や…めっ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

…っ…っ…っ…っ…っ…っ…



くっ……うっ

あ……開かな……いっ

帰っちゃダメだよお

立ってるのもやっとなんだから

く……そっ

ガッ

ガッガッ

くっ

帰りたく無くなるくらい

気持ちいいこといっばい

教えてあげるね

いっ……いや……だっ

やめ……るおっ！

ガッガッ

ズズズズ



ひっ……ぎっ

僕みたいなオジサンに

お尻の穴をほじくられて

うっ……ぐっ

どんな気持ちかな？

ふ……ふざけ……っ

男の太い指を二本も啜え込んで

杏子ちゃんのおまんことお尻の穴は

気持ちいい気持ちいいって言ってるよ？

だま……れ……っ！

ガクガク

ガクガク

グハッ
グハッ
グハッ

ぐっ

ぐっ



おっ！

…おほっ！

や…め…る

ビュッ
ビュッ
ビュッ

お尻の穴でイクなんて

杏子ちゃんの変態なんだね

おっ

おっ

どんどん好きになっちゃうなあ

おほっ！

おっ…ほおおっ！

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ガクッ
ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ
ガクッ



私につ...

何を...飲ませ...た...っ!?

わかってるんじゃないの?

媚薬だよ

び・や・く

び...びや...く?

うっ...ぐっ

杏子ちゃんを変態にしちゃうお薬で

杏子ちゃんのための特注品なんだよ

そ...そんなものをっ

すごく高かったけど

買った甲斐があったなあ

く...そ...っ

ズズズズ

ズズズ



お薬には利尿作用もあるらしくてね

…なっ…なにを…言っ…

ひび

オシッコでお薬を身体から

出せるかもしれないよ？

ふざ…け…っ

くわわわわわ

フリフリ

ほらほら

僕が見てあげてるから

出してららよ？

やっ…やめ…るおっ！

ハ

ハハハ





あっ...で...ちや...っ

おっ!

おっほっ

おほっ...おっ

もっともっと僕と楽しもうねえ

杏子ちゃん

おっほっ

おほおほっ!

おっほっ

おっほっ

おっほっ

おっほっ

今度はこのオモチャで
楽しいゲームをしようか

もしもイツちやつたら杏子ちゃんの負け

耐えられたら杏子ちゃんの勝ちだよ

ふざけん…な…っ!

負けたら罰ゲームだよー

く…その

それじゃゲームスタート!

やめ…るおっ!

うっ…ああっ!



くっ……くっくっ

もつと難易度をあげようか

オモチヤを一つ増やすよー

や……やめ……

変な……もの……

入れる……なっ！

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

おもしろくなってきたねえ

絶対にイカせてあげるからね

ううう

ぐっ……ぐっぐっ……



罰ゲームとして

お薬を全部飲んでもらうよ

やめ……っ

く……ぞっ

トッパッパッ

どこに入れて……っ

トッパッパッ

杏子ちゃんのお尻は

美味しそうにゴクゴク飲んでるねえ

やっ……やめ……ろっ!!

あああっ!!

トッパッパッ



ふーっ……ふーっ

身体に必要なものは

美味しく感じるって言うでしょ？

イェッ

な……なに……がっ

言い……たい……

杏子ちゃんの身体が

これを求めているんだよ

ふ……ざけ……っ

ほらほら

美味しそうだねえ

ぐっ……ぐっ……ぐっ……

いっ
いっ
いっ

イェッ
イェッ
イェッ



あ……が……あ……っ

おー

飲み切れたねえ

素敵だよお

杏子ちゃん

あっ！

おっ……がっ

あっがああっ

ゴボゴボ

ツツツツツツ

ツツツツツツ

ツツツツツツ



ム……ムイレ……たり

は……はなせつ

そ……そこ押すなつ

……うっうっ！

し……舌……がっ

暴れ……てっ

く……ん……ん……ん

×××××
×××××

んんん
んんん

んんん
んんん



おっおっ

……で……るっ

おしっこ……

止まら……な……っ

うっぐっ

飲む……なる

やめ……っ

お……ほっ

おっ……おっ

ビュッ

ビュッ

びゅ

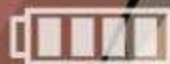
びゅ

びゅ

びゅ



●REC



出な...いつ

も...も...うり

す...吸う...なる

や...ば...っ

イ...く...っ!

う...う...っ!

う...う...っ!

ガクガク

ズクズク

ズクズク

ズクズク



杏子ちゃんのミルク美味しいねえ

お薬で身体が勘違いしちゃったかな？

うああっ

やめるっ！

い…痛っ…いいっ！

いや…だっ！

ああああっ！

僕と一緒に頑張ろうねえ

クリトリスも段々と気持ちよくなるから



杏子ちゃんがもっと

気持ち良くなってくれるように

オジサン頑張っちゃうよお

ひいっ

レックッ

あ……ああ……っ

も……やめ……っ

ほら分かるかい？

ここもこんなに柔らかくなってるよ

ひっ

ぐうぐうぐうっ！！

クンクン

しゅっ

んんん

ちゅっ





ひっ…ひっ…ひっ…!

ひっ!

オジサンもっと頑張っちゃうからねえ

すごく気持ち良さそうだねえ

ひっ…ひっ…ひっ…!

ひっ…ひっ…ひっ…!

ひっ…ひっ…ひっ…!

ひっ
な...何を...っ

歯ブラシでここを擦ったら
気持ち良さそうだと思ってねえ

や...やめ...

毛先が柔らかいタイプだから

きつと気持ちいいよ

まっ...





でも気持ちいいんじゃない？

ひいっ！

チクチクしちゃうかな？

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

やめ……ろおっ！

ふっ……ぐううっ！

ぐわんぐわん……ぐわんぐわん……ぐわんぐわん……

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

杏子ちゃんのエッチなニオイが
ソファに染みついていくねえ

うう……くっ

まだまだエッチな汁が溢れて……

ゼーンと舐めとってあげるね

も……やめっ

うぐっ

んー美味しいねえ

くっくっくっ……





うっうっうっ

やめ...るおる

おまんこもお尻の穴も

トロトロに濡れてすごくエッチだよお

うっうっ

変態っ...がっ

杏子ちゃんとお揃いだねえ

わ...私...はっ

ちが...っ

ぐわんぐわん

グワイグワイ

しゅん

ぐわんぐわん

うっぐうっぐうっぐうっぐ!!

わた...しっ
ちがつ...うっ

これでも変態じゃないって言うのかなあ?

ふっ...ぐり

お尻の穴とおまんこほじくられて

よがってるなんて

イッ...うっ...!!

うっ...うっ...!!

うっ...うっ...!!



そんなもので…なに…をつ

マッサージだよ

こういうのよく売ってるでしょ？

マ…マッサージ…だと？

ふざ…け…っ

杏子ちゃんの歳じゃ

使ったことも無いかな？

ぐわん

やっぱりスイッチを入れないと

マッサージにならないね

ス…スイッチ…？

何を…っ



スイツチオン!

なん…だっ!?

こ…れえっ!

うっ…うっ…うあぁあっ!

やっぱりマッサージ機は

一味違うかな?

クワン

や…やめっ

あっ…うっ…うっ…うっ…!



ひっ...あっ
おおおおっ!

おおっ
おおっ

気に入ってくれたかな？
もっとなごをほぐしてあげるね

ヒヒヒヒヒ

あっ...があっ!

あああああっ!

ヒヒヒヒヒ
ヒヒヒヒヒ
ヒヒヒヒヒ



杏子ちゃんには
僕の色んなことを覚えてほしくてね

あつ……

あああつ

これが僕のチンポの形だよ

このお尻の穴でしっかり覚えてね

おつ……奥……にっ

あつたかいなあ

杏子ちゃんの体温が

すごく伝わるよ

ぬ……抜け……よっ

あああつ



お…奥っ

やめ…ろおっ

ズンズン

僕の精液の感触も

覚えてもらいたいなあ

おっ…ほっ！

何…かつ

出て…るっ！

熱っ…いいっ

グクグク

ズンズン

ズンズン



おおっ

いくらでも搾り取られちゃうなあ

ジュジュジュ

ググググ

やめっ…

や…めるおっ!

杏子ちゃんの尻穴すごく気持ちいいよお

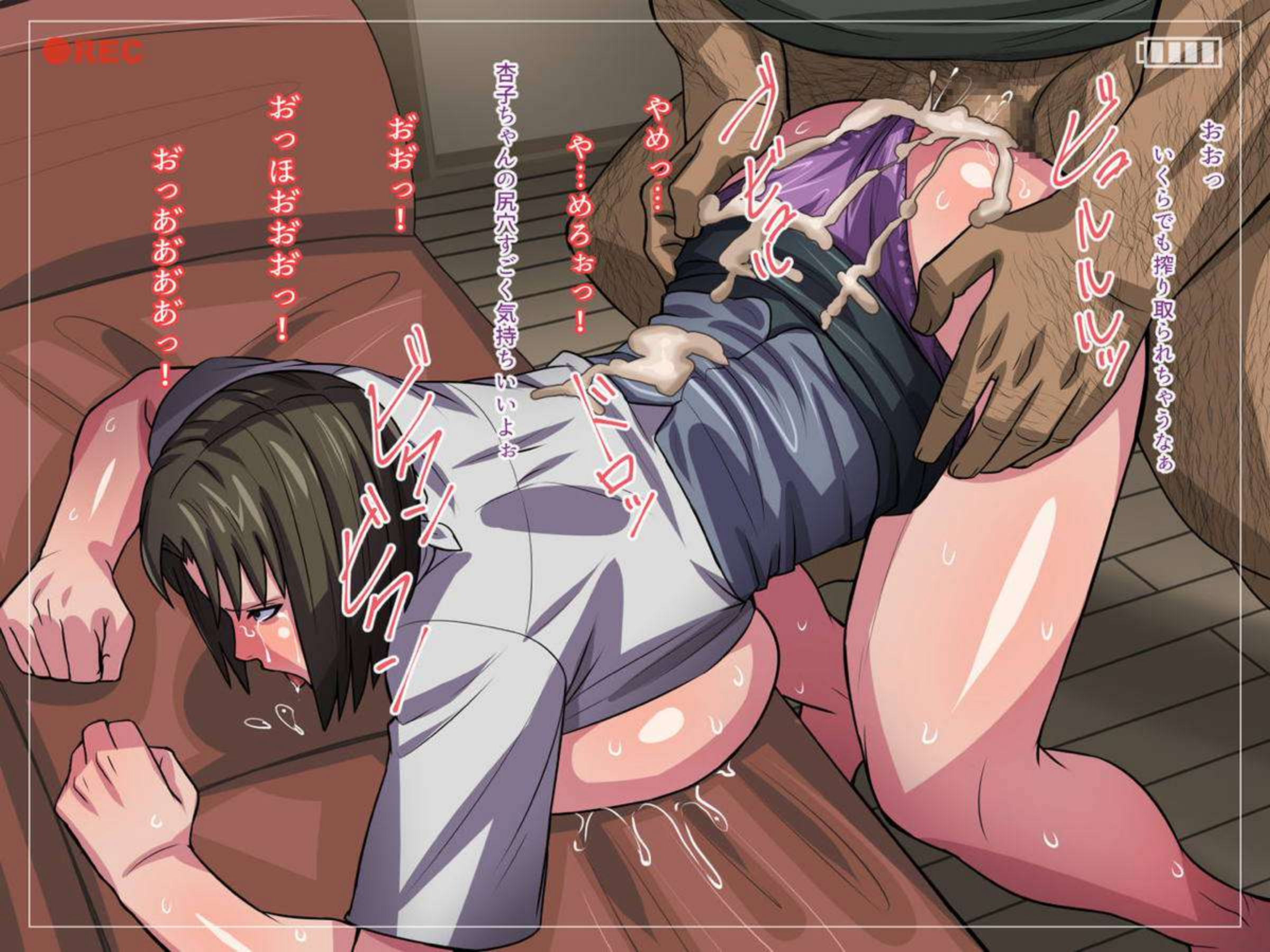
おおっ!

おっほおおおっ!

おっあああおっ!

ググググ

ググググ



杏子ちゃんは僕の子供欲しいかい？

…なっ

ふざ…け…んなっ！

く…そっ

それじゃあ

もっとお尻の穴で楽しみたいんだね

そういう…ことじゃ…っ

な…いいっ

僕も杏子ちゃんの尻穴大好きだから

僕たち合うんじゃないかなあ

く…っ…っ…っ…っ

挿入

っ…っ…っ



子供がいらないってことは

やっぱり杏子ちゃんも

まだまだ楽しみたいんだね

ひっ…い

ビクッ

や…めえ

杏子ちゃんが望むなら

愛玩用のペットとして

ずっと家にいてもいいんだよ

そんな…のっ

い…いや…だっ

ぐわっ

グキョ

グキョ



ああっあああっ!!

おー

いっぱい搾られちゃうなあ

ひっあああっ!!

おまんこもこんなに指に吸い付いて

やっぱり子供が欲しくなっちゃったかな?

あっぐっ

あああっ!!

あああっ!!



杏子ちゃんの子供

僕やつぱり欲しくなつちやつたなあ

…ひっ！

重っ…い…

は…離せっ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

うっ…ぐっ

やめ…ろおっ！

こうすれば僕のこと

ずっと忘れないんじゃないかな？

い…いや…だっ！

うっ…うっ…



ここが杏子ちゃんの子宮口かなあ？

やっ...や...めっ

あっ...あああっ

ズッ
ズッ
ズッ

僕の精液いっぱい注いであげるからね

ダメ...だっ

おっ...んっ！

出っ...てるっ

ぬっ...抜けっ！

杏子ちゃんの希望通り

いっぱい抜いてるからねえ

ち...がっ...あああっ！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



お腹いっぱいに出してあげるからね

は…孕つ…む…っ

…い…やり

あっ…がっ

きゆうきゆう締め付けて

おまんこが嬉しがってるねえ

うっおおおっ!

杏子ちゃんと子作りできて

僕も嬉しいよ

うぐっ

おおおおっ!

ガクガク

Multiple instances of stylized red sound effects (e.g., ツンツン, シュッシュ, ズンズン) scattered across the lower half of the image.

僕たちの子供

ちやんとできると良いねえ

この後、結果として杏子が妊娠することになった。気付けば彼女は自宅におり、あれは夢だったのではないかと考えた。しかし身体に染みついた男の精液の臭い、そして下着の中にドロリと溢れる精液の感触に、あれが現実のものだったとわかった。本来ならば警察に相談するべきだったが、ヤンキー上りの彼女にその発想はなかった。報復しようにも男の家を思い出せず、ただただ自分だけが玩具のように弄ばれた事実を唇を噛みしめるのだった。

あ……ああ……うあ

は……あ……は

ゴブゴブ

ググ

ゴッ

……あ

おとつと

僕の子種がこぼれちゃうね

まだ日も変わらないし

もう少し楽しもうか

ね？

……や……あ





REC





REC





REC





REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







● REC



REC







● REC



● REC







● REC



● REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







● REC



REC







REC



● REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



● REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC







REC



REC















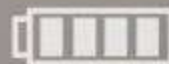




REC



REC







REC



REC



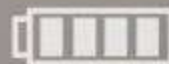




REC



REC





REC





REC





REC









